



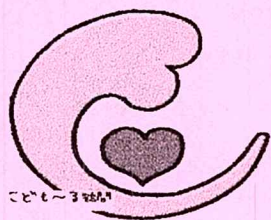
Insta



Mail



URL



《運営》

認定NPO法人

地域家族しんちゃんハウス

☆子育て親子の交流つどいの広場の提供

☆子育てに関する相談・援助

☆地域の子育て関連情報の提供

☆講習会

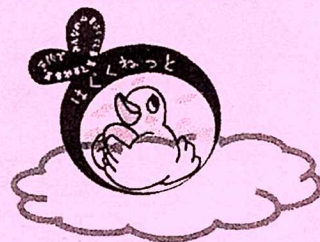
利用対象者

★乳幼児:0〜3歳児(誕生日から最初の3/31まで)と親(保護者)

《お問い合わせ》

電話:090-3685-2288(こども〜るフォン)

場所:イオンモール大和4F(ライトコート側)



6月の予定

日	月	火	水	木	金	土
前半 後半	前半 後半	前半 後半	前半 後半	前半 後半	前半 後半	前半 後半
栄:栄養士 助:助産師 看:看護師 子:子育てアドバイザー 経:子育て経験者 絵:絵本講師	☆こども〜る鶴間のライトはなぜ暗くしてあるか ご存じですか? 赤ちゃんの脳活動に最適にしているからです。 大人は明るいのが良いかもしれませんが、赤ちゃんは違います。 光の刺激が強かったり多かったですと興奮してしまうのです。			保・保 保・保 1 	保・保 栄・経 2 A(13:35~16:35)	看・保 栄・経 3
保・保 保・経	保・保 保・経	保・保 保・経	保・保 保・経	保・保 栄・経	保・保 栄・子	看・保 保・経
4	5 B(14:00~16:00)	6 	7	8 	9 	10
保・保 看・経	保・保 保・経	保・保 保・経	保・保 保・経	保・保 栄・子	保・保 保・経	保・保 保・経
11	12 B(14:00~16:00)	13 	14	15 	16 	17
保・保 保・経	保・保 保・経	保・保 保・経	保・保 栄・経	保・保 栄・経	保・保 保・経	保・保 保・経
18	19 よみ	20 助産師による おっぱい教室 (13:35~14:35)	21 	22 	23 	24 よみ
保・保 看・経	保・保 保・経	保・保 栄・経	保・保 保・子	保・保 栄・経	保・保 保・経	
25	26	27 	28 	29 	30	

☆子育てアドバイザーの交代は14時です

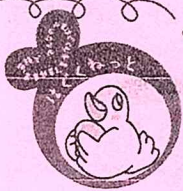
 管理栄養士による 栄養相談 (14:00~17:45)	 保健師による育児相談 A(13:35~16:35) B(14:00~16:00)	 保育士による 育児相談 (13:35~16:25)
 助産師による おっぱい教室 (13:35~14:35)	 発達相談 (14:00~17:45)	 保育士/ボランティア による手遊び (10:30~11:00)
		 絵本読み聞かせ a(10:30~10:45) b(14:30~14:45)

お知らせ！！

※ 5/8〜感染対策の緩和により
時間・人数変更、入替制

- ①10:15~11:45 ②11:55~13:25
③13:35~15:05 ④15:15~17:45

人数の制限もありません♪
(状況により制限の場合もあります)

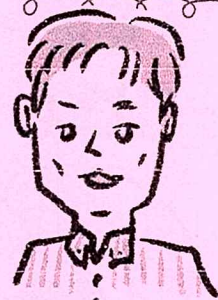


～笑顔ではぐくねっと～4月のスキルアップ講座より

楽しく学ぶアクティビティプログラム

「プロジェクト・アドベンチャー」

講師
西鶴間小学校 校長
高井 洋一先生

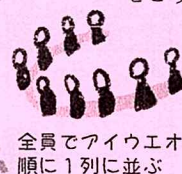


プロジェクトアドベンチャー（PA）とは、アドベンチャー体験から学ぶ、アクティブラーニングプログラムです。子どもから大人まで幅広い世代で、実体験から成長するための「気づき」を効果的に得ることができます。今回スキルアップ講座では、子育て支援スタッフに向けたPAを限られた空間でも楽しめるように、高井校長先生が工夫してくださり体験できました。

「ルール（約束）を軽視せず、チャレンジするかは自分で決める」ことが大前提

1. いくつかのアクティビティを体験することで、目には見えないが大切なことを実感できるプログラム

他者とのコミュニケーション
をどうやってとる？



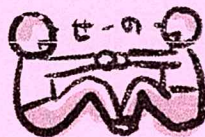
全員でアイウエオ順に1列に並ぶ
1列に並んだところで、前から順に1～6の番号を言っていき1～6で1列に並ぶ

並んだ列ごとにグループになり、おしゃべりせずにグループ内で誕生日順に並び直す



一人では出来ない事が誰かと協力する事で可能になる

1人で体育座りから足も手も使わず立てないが、2人だとできるか、3人だと4人だと...と、どんどん人数を増やしてチャレンジしてみる



他人に命を預ける体験
他人を信頼するという事の体験

トランスフォール：1人は腕を組み直立に立った状態から目をつぶって後ろに丸太のように倒れる、それを2人でしっかり両手両足で支える



他人の意見を聞き自分との共通点や違う部分があることを知り、自分自身の考えにも気づける

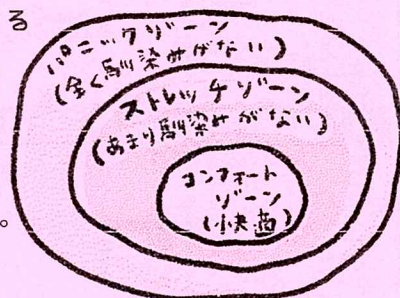
グループごとに円になり紙にペンで円を書き、その円上に「子育て」と書く。円の中に1人ずつ、子育てで1番大切な事を他の人に言った後書く。皆書いたら次は円の外に子育てで1番やっていたいけない事を1人ずつ言った後に書く



この他にも、グループで意見を1つにまとめなければいけないPAもあり、その時自分と違う意見に決定して、そのモヤモヤを知ったり、知ることモヤモヤを持った人の気持ちがわかるという体験ができるものも。

2. PAによって、一歩踏み出し、自分の枠を広げることの大事さが手軽に実感できる

- Point① 居心地がよいコンフォートゾーンにずっといると成長は少ないと言われています。未知の体験にむかってストレッチゾーンに一歩踏み出し、自分の心と向き合って葛藤を乗り越えることで成長していきます。
- Point② PAプログラムは、仲間と一緒にアドベンチャーに取り組みます。仲間や自分の気持ちと向き合いながら、お互いにとって心地の良い安心安全な場をつくります。それが一人ひとりの一歩踏み出す力になります。



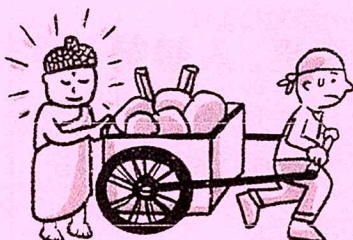
3. 様々な体験から、自らの学びを効果的に作り出すPA。

そしてやり遂げたという実感は自信へと繋がる。この時大切なのは自分の力でやったという事実。

体験活動の中で起きたことをふりかえる事で、グループや日常生活への生かし方を考え、体験を自らの学びに変えていきます。「共同体」とは本来意味ある他者と出会う場所のことです。もちろん家族も一番小さな単位の共同体ですが、見知らぬ他人とそれぞれの考えや経験を自由に話し合う時、人は初めて世界の広さと多様さを知ります。自分の経験や意見とは別のものがある事を知ります。他者と話し合い、互いの意見を認め合い、合意を図る。困っている人、悩んでいる人、守るべき人の存在を知る事で、互いに助け合う事の大切さを知ります。

4. 令和の日本型学校教育とは

- 個別最適な学び：一人ひとりの児童生徒が、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重できるようにする
- 協働的な学び：多様な人々と協働しながらさまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする



以上のことを実現するために、教師は子ども一人ひとりの学びを最大限に引き出す役割を果たし、子どもが自ら学び自ら考える力『生きる力』の育成のために、「仏様の指」のような役割を心がけたい。ぬかるみにはまってしまった車を男は懸命に引くけれども動く気配がない。その時、仏様がちょっと指でその車におふれになった。その瞬間、車はすっとぬかるみから抜けて男は引いて行ってしまった。

「こういうのがほんとうの一級の教師なんだ。男はみ仏の指の力にあずかったことを永遠に知らない。自分が努力して、ついに引き得たという自信と喜びとで、その車を引いていったのだ。」